



岩手県立高田高等学校



[所在地] 〒029-2205
岩手県陸前高田市高田町
字長砂78番地12
[電話] 0192-55-3153
[FAX] 0192-55-6758

海洋システム科通信 4月号



発行元：岩手県立高田高等学校海洋システム科

今旬
岩手魚

蝶鮫

ちようざめ



繋げ!人の輪! (テルノ一テ交流事業)



東日本大震災より親交のあるテルノ一テ高校から生徒さんたちが来校した! 海洋システム科は、ローワークやちくわパンの作り方を伝授した!! 繋げ! 国境なき人の輪!!

はじめの一步(感謝)

(広田湾海洋環境観測報告会(東海大学連携))



海洋システム科 発表内容



発表してくださった プロフェッショナル



東海大学 坂本泉 様
JAMSTEC 藤倉克則 様
県水産振興センター 宮田小百合 様

東海大学の坂本先生、JAMSTECの藤倉さん、県水試の宮田さんに、震災以降の広田湾の海洋環境の現状やエゾイシカゲガイの研究開発について報告して頂きました!

海洋システム科での“学び”は広田湾の海やそこで働く方々に支えられている。2年生が東海大学とJAMSTECの協力のもと、1年間かけて広田湾で海洋環境観測を行い、その成果を発表した! この取組が、広田の海と水産業に関わる人々への“恩返し”に繋がるはじめての一步だ!!

先生の独り言 vol.1



深海魚いろいろ

適応がもたらす進化

より深い、水深2000mある。物体には金属バットをペチャンコにしてしまふほどの水圧がかかる。餌や酸素は極めて少ない。つまひ生きていくには、とても生きやすい環境なのだ。とて

“深海魚”と呼ばれる、体がやわらかく、動きがとて、水圧の影響を受けにくい。水のわりと多量に多い。水圧のわりと少ない。深海魚の多くは、深海に適應する。深海魚の進化は、深海に適應する。深海魚の多くは、深海に適應する。深海魚の多くは、深海に適應する。

生活が始まる。4月から新たな生活が始まる。現在、コロナウイルスの影響で生活する環境や関係の幅は、とても狭くなっている。環境は、とても狭くなっている。環境は、とても狭くなっている。

とて、どの様な状況や環境であつても、それに適應する。環境は、とても狭くなっている。環境は、とても狭くなっている。

海洋システム科では、進化の過程を学ぶ。進化の過程を学ぶ。進化の過程を学ぶ。進化の過程を学ぶ。

期待したい。進化の過程を学ぶ。進化の過程を学ぶ。進化の過程を学ぶ。進化の過程を学ぶ。

令和元年度卒業生 海洋システム科での軌跡



最終年
いってこい、
じぶん
“海洋”らしく